

令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和6年度の振り返りと令和8年度の取組検討）

| | | | | | | | | | |
|------|---------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|-------|
| 施策No | 422 | | | | | | | | |
| 施策名 | 教育を支える地域づくりの推進 | | | | | | | | 施策の目的 |
| 関係課 | 教育総務課、市民生活課、学校教育課、教育センター、生涯学習課、こども政策課 | | | | | | | | |

1. 進行管理

(1) 指標の実績・考察と目標年度（令和7年度）の目標値達成見込み

| No | 事業名 | 単位 | 実績値 | | | | 見込値 | 目標値 | 最終年度（R7）の目標値達成見込 | R6年度の実績説明・考察 及びR7目標値達成見込判断の理由 |
|----|-----------------------------|----|------|------|------|-------|-------|-------|------------------|----------------------------------|
| | | | R2 | R3 | R4 | R5 | | | | |
| a | いじめの解消率 | % | 66.7 | 69.9 | 69.6 | 62.2 | 64.5 | 75.0 | 100 | ④現在の想定では目標達成が困難 |
| b | 子育てに負担や不安があると回答した小学生の保護者の割合 | % | 73.7 | 71.1 | 77.2 | 82.8 | 80.0 | 80.0 | 69.0 | ④現在の想定では目標達成が困難 |
| c | 学校支援ボランティア登録者数 | 人 | 778 | | 908 | 1,118 | 1,133 | 1,140 | 1,000 | ①既に目標値達成済み |
| d | | | | | | | | | | |

(2) 構成する事務事業の昨年度（令和6年度）の取組結果 ※効果が上がった、下がったの判定は、事業効果を説明する指標のR5との比較となります。

①施策関連区分A（実施計画事業）

| No | 事業名 | 事業効果を説明する指標 | 単位 | 事業費（単位：千円） | | | 効果説明 | | | |
|----|-----------------|----------------------|----|------------|-----|-----|------|-----|-------|--|
| | | | | R4 | R5 | R6 | R4 | R5 | R6 | |
| 5 | 心の教室相談員活用事業 | 心の教室相談員が相談を行った延べ人数 | 人 | 433 | 563 | 637 | 724 | 820 | 998 | 配置している市立学校2校とも、児童及び保護者への相談支援のニーズがあり、心の教室相談員を効果的に活用できている。不登校傾向の児童が、心の教室相談員の勤務日のみ、登校できるケースもあつた。 |
| 6 | コミュニティ・スクール推進事業 | コミュニティ・スクール導入状況（導入率） | % | 3 | 8 | 46 | 230 | 650 | 1,327 | 計画どおり令和7・8年度に導入する学校への研修を行うことができた。ボランティア向け研修については、当初中学校対象のところ、小学校へも拡大して実施できた。また、導入済みの11校のうち、希望する学校4校に、委員の研修も兼ねた支援も実施することができた。 |

【効果が上がった事業】

| No | 事業名 | 事業効果を説明する指標 | 単位 | 事業費（単位：千円） | | | 効果説明 | | |
|----|-----|-------------|----|------------|----|----|------|----|----|
| | | | | R4 | R5 | R6 | R4 | R5 | R6 |
| | | | | | | | | | |

②施策関連区分B（実施計画事業以外）

| No | 事業名 | 事業効果を説明する指標 | 単位 | 事業費（単位：千円） | | | 効果説明 | | | |
|----|---------------|----------------------|----|------------|------|------|-------|-------|-----|--|
| | | | | R4 | R5 | R6 | R4 | R5 | R6 | |
| 3 | 中学生マイ・チャレンジ事業 | 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 | % | 75.6 | 73.5 | 73.7 | 47 | 47 | 47 | 各校では地域性を生かしながらマイ・チャレンジ事業を実施し、生徒の職業観の育成を図っている。指標の全国学力調査の質問紙「将来の夢や希望をもっている」の割合は7割程度と横ばいになっている。 |
| 7 | 学校評議員推進事業 | 学校評議員制度を導入している学校 | 校 | 28 | 22 | 13 | 1,995 | 1,553 | 920 | 現在は、学校評議員制度から、より地域と一体となった特色ある教育活動が実施できるようになる学校運営協議会制度への転換を図っている。 |

【効果が下がった事業】

| No | 事業名 | 事業効果を説明する指標 | 単位 | 事業費（単位：千円） | | | 効果説明 | | |
|----|-----|-------------|----|------------|----|----|------|----|----|
| | | | | R4 | R5 | R6 | R4 | R5 | R6 |
| | | | | | | | | | |

(3) 基本方針の取組状況

①特に実績をあげている取組（計画初年度（令和4年度）以降の取組状況）

| No | 事業名 | 事業効果を説明する指標 | 単位 | 事業費（単位：千円） | | | 効果説明 | | | |
|----|--------------|----------------------|----|------------|-------|-------|-------|-------|-----|---|
| | | | | R4 | R5 | R6 | R4 | R5 | R6 | |
| 10 | 放課後子ども教室推進事業 | 地域に興味を持った子どもの割合 | % | - | 79 | 71 | 1,144 | 1,186 | 993 | コーディネーター会議や運営委員会、交流研修会を通して、放課後子ども教室の推進を図った。 |
| | | 放課後子ども教室ボランティア年間延べ人数 | 人 | 1,004 | 1,237 | 1,133 | | | | |

②未着手等計画通りではない取組（及び今後の対応）

| | |
|---|------|
| ・教育相談事業において、年々増加、複雑化している相談に対し、令和5年に相談員を1名増員したことにより、一つ一つの相談にも時間をかけて対応することができた。継続して支援を行うケースも増えたことで、相談対応件数も増加した。 | 特になし |
|---|------|

(4) 令和6年度行政経営方針の取組状況

①令和6年度行政経営方針

| | |
|--|---|
| ・放課後子ども教室の充実とコミュニティ・スクール設置に向け、地域コーディネーターやボランティア研修を行うとともに、地域への広報活動を行い、教育を支える地域づくりを進めます。 | ・放課後子ども教室の充実とコミュニティ・スクール設置に向け、地域コーディネーターやボランティア研修を年に2回行った。さらに、地域づくりにつながる研修案内などの情報提供を社会教育施設に対して行つた。 |
| ・学校・家庭・地域が連携したいじめ対策に取り組むとともに、いじめ問題対策連絡協議会を開催し、いじめの未然防止や解決に向けた関係機関との連携について協議を行い、認知したいじめの100%解消に努める。 | ・いじめ問題対策連絡協議会を開催し、いじめの未然防止や解決に向けた関係機関との連携について協議を行つた。 |
| ・市・県双方のスクールソーシャルワーカーと県のスクールカウンセラーの資質向上を図るために研修を実施するとともに、連携を強化することでいじめの予防、早期発見、適切な対応を行う。 | ・県教委主催のスクールカウンセラー研修会が行われることとなり、市主催の研修会は開催しないこととしたが、各配置校において県スクールカウンセラーと県スクールソーシャルワーカーが情報交換する機会を定期的に設けるなどして、連携の強化に取り組んでいる。 |
| ・いじめの未然発見のため、1人1台端末を活用した教育相談や児童生徒の心の状態を可視化できる支援アプリケーションの活用を検討する。 | ・一部の学校において、1人1台端末を活用した教育相談アンケートを実施したり、児童生徒の心の状態を可視化できる支援アプリケーションを試用した調査研究を行つていて。 |
| ・家庭教育推進講座、家庭教育出前講座の内容や開催場所を多様化し保護者等の参加機会を増やす。また、地域の教育力を生かす放課後子ども教室の活動を通して、子どもの学習や体験活動の一層の充実を図る。 | ・家庭教育推進講座については、保護者が気軽に参加できるよう音楽を取り入れた講座を土曜日に実施した。また、放課後子ども教室については、学習だけでなく音楽や料理など地域の実態を生かした活動が行われている。 |

2. 課題と次年度（令和8年度）の取組

(1) 課題<環境変化や関係者の意見、要望等を踏まえて>

(2) 課題に対する今年度（令和7年度）内の取組状況、予定

(3) 次年度（令和8年度）の取組（案）

| | |
| --- | --- |
| ①コミュニティ・スクールを支える学校地域応援団を構成するコーディネーター、ボランティアの育成、資質向上 | ①放課後子ども教室の充実とコミュニティ・スクール設置に向け、地域コーディネーターやボランティア研修を開催する。さらに、地域づくりにつながる研修案内などの情報提供を社会教育施設に対して行つて行つた。 |